



学校教育目標「挑戦 はじける笑顔 丹那の子」
 学校経営目標「丹那を学び、丹那のよさを知り、丹那とともにある学校」

元気な学校！ 元気な地域！！

CSオール丹那

CSオール丹那会議通信
 令和3年7月発行
 第1号(通算9号)

令和3年度 第1回 CSオール丹那会議を実施！

【CS（コミュニティ・スクール）とは？】

学校運営協議会を設置した学校のことです。学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供たちの成長を支えていく学校づくりを進めていくことをねらいとしています。

【学校運営協議会とは？】

学校の教育目標・ビジョンを共有するとともに、法律に基づき一定の権限と責任を有する合議制の機関です。保護者・地域の声を学校運営に生かし、「地域とともにある学校づくり」の核となる組織です。

【協議する内容は？】

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認します。
- ・学校運営や教育活動について、校長または教育委員会に意見を述べます。
- ・学校の課題解決や学校支援活動の実施方法等について協議します。

6月23日（水）の18時より、丹那小学校ランチルームにて第1回CSオール丹那会議を行いました。今年度の委員を下記の方々をお願いいたしました。

令和3年度CSオール丹那会議委員

	役職等	氏名		役職等	氏名
1	【会長】前副会長	柿沼 忍昭	9	地域・学校協働活動推進員	山田 正彦
2	前PTA会長	仲川 裕樹	10	地域・学校協働活動コーディネーター	石井 恒男
3	PTA会長	内田 利光	11	校長	植松 研吾
4	畑区長	大塚 公正	12	教頭	濱田 晃治
5	元学校評議員	西村 知世	13	教務主任	下山 祐二
6	元小学校教諭	渡邊久美子	14	事務主任	山崎 和広
7	自給自足アドバイザー	神尾 尚宏	*敬称は略させていただきました。 *副会長は後日、決定いたします。		
8	三島警察署(丹那駐在所)	竹内 良賢			

本校のCSオール丹那会議も五年目を迎えました。一昨年度から第1回会議のみ、校長・教頭・教務主任・事務主任に加えて全学級担任と養護教諭も出席することにしましたが、コロナ対応における三密回避のため、学校から校長・教頭・教務主任の三名が出席しました。会議の内容は、以下のような事柄でした。

- 1 柿沼新会長挨拶
- 2 自己紹介（所用のための欠席者については、教頭より紹介）
- 3 CSオール丹那会議の年間計画

- 4 会の運営について
- 5 丹那小学校の学校教育目標とランドデザインについての説明
- 6 学校評価についての説明
- 7 学校経営方針の承認

開会前に、山邊義彦教育長から「丹那小学校の今後」について話をいただきました。函南町の基本的な考え方は、「令和元年度の函南町総合教育会議において、丹那小学校の存続について協議され、存続の方向で一致している。学校選択制（特認校制度等）についても話題となり、学校や地域・保護者の意見を聴取してほしいとの要望が出されている」とのことでした。

開会后、柿沼会長から「丹那小の特色として魅力的な活動は、自給自足DAY。『命の教育』として生きる力を付けていくために大切な取組だと感じている。CSで進めていきたい。この魅力を発信していきたい。学校の存続については、地道な活動を積み上げていくことで地域の意思統一を図っていきたい」と話していただきました。

また、委員の皆様方からは「丹那小学校の今後」について多くの意見を出していただきました。意見交換では、次のような質疑応答がありました。

- 「学校では毎日消毒をしてコロナ感染はなかったが、インフルエンザ感染はあったのか」
- 「本校も、函南町内も、田方地区内もゼロ」「マスク着用と消毒は、かなりの効果がある」
- 「学校評価でA評価60%を目指すことも大切だが、C又はD評価をする児童もいる。少数ではあるが、C又はD評価をなくす方向へもっていくためにフォローをお願いしたい」
- 「特認校に向けて、丹那小の教育を知らない人へのアピールが必要である」
- 「丹那小を紹介するプロモーションビデオを作ってはどうか」「桑村小にはある」
- 「CS会議の成功が丹那小の存続に繋がる」
- 「丹那小の魅力を発信して、よさを知ってもらいたい」
- 「学校の様子は、回覧される『丹那小だより』で知っていた。でも、CSの存在を知らなかった。文書を発行して、この会議の存在を各区長へアピールしてほしい」
- 「地区への説明も必要である」
- 「丹那小ならではの学校行事のよさを伝えたい」
- 「本年度の委員にJA青年部が入っていないが、今後は入れるようにしたい」
- 「読み聞かせボランティアやバドミントンクラブ講師として、子供たちとのふれ合いを楽しんでいる」
- 「駐在所員ならではの活動があり、教科の授業や不審者侵入訓練等で関わりが多い」
- 「現状では、防犯面での心配はない」
- 「函南町は読書を推進している町なので、『読書科』を開設してはどうか」
- 「コロナ禍のため実施していない『朝じゃれ』は、心のケアに繋がる。体を動かした後、静かに過ごすことが大切である」
- 「今後、地区やCS会議、そしてPTAで役割を決めて動き、丹那小存続を推進していく」
- その後、全会一致で学校経営方針は承認されました。

今回のCS会議を通して、委員の皆様方が丹那小学校の味方になってくださっていることを改めて実感いたしました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、日頃より地域や保護者の皆様には本校の教育活動の推進にお手を煩わせております。皆様方の御期待に添えるよう、教職員一同が今一度気持ちを一つにして教育活動を進めて参りますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

（文責：植松）

